

会社の基本を知る

リスク管理と責任

導入

事業を始めると、利益を追求するだけでなく、リスクやトラブルへの備えや必要になります。

例えば、取引先とのトラブルや経済的なリスクが考えられます。

この授業では、リスクの種類を整理し、どう管理すれば事業を安全に運営できるかを学びます。

起業におけるリスクの種類

①経済的リスク

売上が予想を下回る、費用が予算を超える、顧客が支払いを滞納するなど。

対策例：資金繰り の計画を立てる、余裕を持った予算を組む。

②法的リスク

契約トラブル、著作権や商標権の侵害など。

対策例：契約書をしっかり確認する、弁護士に相談する

起業におけるリスクの種類

③社会的リスク

クレームや評価の低下、SNSでの炎上。

対策例：顧客対応を徹底し、透明感のある運営を行う

④人的リスク

従業員や取引先とのトラブル、病気などの予期せぬ事態

対策例：人員配置の計画、保険の加入。

事業形態ごとの責任範囲

①個人事業主の責任

特徴：無限責任（事業の借金などは全て個人が負担）

リスク例：売上が低下しても、個人の資産で借金を返済する必要がある。

②株式会社の責任

特徴：有限責任（出資額以上に負債を負う必要はない）

リスク例：借金が多くても、会社が倒産すれば個人の資産は守られる

事業形態ごとの責任範囲

③合同会社の責任

特徴：有限責任（株式会社と同じ）

リスク例：出資者間の意見対立などで運営に支障が出る場合もある。

項目	個人事業主	株式会社	合同会社
責任範囲	無限責任	有限責任	有限責任
リスク管理の自由度	高い（自分で全て対応）	中程度（経営陣で分担）	中程度（出資者で分担）
倒産時の影響	個人資産が差し押さえられる	会社資産のみ負担	会社資産のみ分担

以下の質問に答え、自分の事業のリスク管理方法を考えてみましょう

- ①あなたの事業で想定される主なリスクは何ですか
- ②そのリスクを軽減するために、どのような対策が考えられますか
- ③責任を最小限に抑えるために、事業形態が適していると思いますか

まとめ

事業を始める上で、リスクを予測し管理することは不可です。特に責任の範囲を理解し、事業形態を適切に選ぶことで、リスクを最小限に抑えることができます。

次回は、ビジネスライセンスや許認可について学びます。

宿題

あなたの事業における主要なリスクを3つあげ、それぞれのリスクに対する具体的な対策を考えてきてください。